

東海第二発電所 工事計画認可申請に係る審査工程

平成30年5月8日
日本原子力発電(株)

説明項目	仮FIX	平成29年度					平成30年度					備考	
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		9
主要工程 	-	補正(#1) ▼11/24 補正(#2) ▼2/13 現時点 ↓											
共通 作成要領 品質管理の方法等													
本文 1 要目表 (設備リスト, 設定根拠に関する説明書, 図面とセット) 2 基本設計方針 3 適用基準及び適用規格	記載方法												・要目表は○/○件, 基本設計方針については○/○件が仮FIX。なお, 本文からの論点はない認識。
施設共通の説明書													
1 設置許可との整合性		基本設計方針確定後											・施設共通の説明書は, 全体的にほぼ予定通り進行中。 ・No. 4「竜巻への配慮」, No. 5「火山への配慮」の終了時期は, 各強度計算書と同時期とするため, 期間を変更。 ・No. 8「設定根拠」は, 要目表ヒアリングと合わせて実施中。
2 自然現象等による損傷防止													
3 津波への配慮													
4 竜巻への配慮													
5 火山への配慮													
6 外部火災への配慮													
7 取水口及び放水口	●												
8 設定根拠													
9 技術基準要求機器リスト													
10 設定根拠(別添)		基本設計方針と併せて実施											
11 クラス1機器等のSCC対策	●												
12 健全性													
13 火災防護													
14 溢水防護													
15 飛散物による損傷防護													
16 通信設備	●												
17 安全避難通路													
18 非常用照明													
施設個別の説明書													
1 原子炉本体の基礎													・施設個別の説明書は, 1件(No. 1)を除き, ほぼ予定通りに進捗中。なお, No. 1「原子炉本体の基礎」については, 5/11に説明予定。 ・No. 10「有効吸込水頭」については, 圧損試験を追加で実施するため, 期間変更。 ・No. 20「原子炉格納施設の設計条件」については, 論点整理(PCV動荷重評価等)に関するヒアリングに時間を要したため, 期間変更。
2 原子炉圧力容器の脆性破壊防止													
3 使用済燃料貯蔵槽の監視装置並びに計測範囲等													
4 貯蔵設備の核燃料物質漏れ防止	●												
5 燃料集合体の落下防止等													
6 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力	●												
7 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力	●												
8 流体振動等による損傷防止													
9 原子炉格納容器内の漏れ監視装置の構成並びに計測範囲等													
10 有効吸込水頭													
11 計測装置の構成並びに計測範囲等													
12 原子炉非常停止信号の設定値の根拠													
13 工学的安全施設等の起動信号の設定値の根拠													
14 制御装置に係る制御方法													
15 中央制御室の機能													
16 主排気筒の基礎													
17 放射線管理用計測装置の構成並びに計測範囲等													
18 管理区域の出入管理設備等	●												
19 中央制御室の居住性に関する説明書他		追加調査結果 気密性, 閉閉機構, 全体成立性 ガスケット増厚試験結果, テイクプル試験結果											
20 原子炉格納施設の設計条件													
21 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能													
22 原子炉格納施設の基礎													
23 非常用電源の出力設定	●												
24 常用電源設備の健全性	●												
25 三相短絡容量計算書	●												
26 緊急時対策所の機能	●												
27 緊急時対策所の居住性	●												
耐震性に関する説明書													
1 耐震設計の基本方針													・No. 2「耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性」については, 類似構造物の代表構造物を優先にヒアリングを実施済み。ただし, 立坑構造物については解析モデルを変更したため, 施設計算書(土木構造物), FRS包絡性確認結果は7月まで延期。 ・計算書結果からの論点はない認識。
2 耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書		追加調査結果 D/O建屋等補足説明資料											
・立坑構造物													
3 機器類の耐震計算方法		JEAG適用外設備 試験結果(速報)											
4 機器類の耐震性についての計算書		試験結果: モデルの妥当性説明 弁の機能維持											
・気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書		加振試験結果											
5 配管系の耐震性についての計算書													
6 可搬型重大事故等対処設備等の耐震性についての説明書													
強度に関する説明書													
1 強度評価の基本方針													・No. 1「強度評価の基本方針」, No. 2「機器類の強度計算方法」については, 論点整理(SA時の強度評価における設計条件等)に関するヒアリングに時間を要したため, 延期済み。 ・計算書結果からの論点はない認識。
2 機器類の強度計算方法													
3 機器類の強度に関する説明書													
4 配管系の強度に関する説明書													
5 自然事象等への配慮が必要な施設の強度に関する説明書		降灰荷重による建屋健全性評価											
・火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書(建屋強度計算書)													
その他計算書													
1 安全弁等の吹出量計算書													・図面は, 要目表ヒアリングと合わせて実施中
2 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽等についての計算書													
計算機プログラム(解析コード)の概要													
図面													